

第16回沖縄振興審議会総合部会 議事録

内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付
企画担当参事官室

第 16 回沖縄振興審議会総合部会 議事次第

日時：平成 22 年 9 月 9 日（木）13：00～13：30

場所：合同庁舎第 4 号館 4 階共用第 2 特別会議室

1 開 会

2 議 事

・総合部会専門委員会の中間報告(案)について

3 閉 会

沖繩振興審議會総合部会配布資料

資料 1 座席表

資料 2 沖繩振興審議會総合部会専門委員会 委員名簿

資料 3 - 1 沖繩振興審議會総合部会専門委員会調査審議結果
中間報告（案）（概要）

資料 3 - 2 沖繩振興審議會総合部会専門委員会調査審議結果
中間報告（案）

— 沖縄振興審議会総合部会委員名簿 —

名桜大学理事長	嘉 数 啓
関西学院大学教授	小 西 砂千夫
株式会社タマノワ代表取締役	玉 沖 仁 美
沖縄電力株式会社代表取締役会長	當 眞 嗣 吉
琉球大学准教授	藤 田 陽 子
東京電機大学教授	安 田 浩

— 出席者 —

○総合部会委員

嘉数啓委員、小西砂千夫委員、玉沖仁美委員、當眞嗣吉委員、安田浩委員

○内閣府

清水政策統括官（沖縄政策担当）、大辻沖縄振興局長、槌谷官房審議官、小池参事官（企画担当）

○嘉数総合部会長 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第 16 回沖縄振興審議会総合部会を開催いたします。

皆様には、御多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日は、藤田委員が所用により欠席であります。

本日の議題は、「総合部会専門委員会の中間報告（案）」であります。総合部会の委員の皆様も、那覇で過去 5 回にわたって審議に御参加いただいておりますので、全部御参加いただいていない方もおられますが、御存じかと思いますが、その専門委員会の方で現行計画の柱立てに沿いつつ、沖縄振興策の現状と課題などについて調査審議を行ってまいりました。今回、その結果が中間報告（案）として取りまとめられましたので、本日この部会にて御審議、御了解いただいた上で審議会に御報告したいと思っております。よろしく願いいたします。

それでは、配布資料の紹介をさせていただきます。お配りした資料について御確認をお願いします。配布資料には、それぞれに番号を付してあります。

資料 1 は、座席表です。

資料 2 は、沖縄振興審議会総合部会専門委員会の名簿です。

資料 3 は、総合部会専門委員会の中間報告（案）の概要と、本文であります。

総合部会専門委員会中間報告（案）でございますが、これついてただいまから議事に入ります。概要につきまして、事務局から御説明をお願いいたします。小池企画担当参事官、お願いします。

○小池企画担当参事官 それでは、お手元の資料 3－1 の概要に沿いまして、中間報告（案）の概要について御説明をしたいと思います。

これにつきましては、委員の先生方には調査審議に加わっていただきましたのでよく御承知のことかと存じますが、簡単にそのポイントを御紹介させていただきたいと思っております。

この資料の右下の「総合評価・総括」のところをまずごらんいただきたいと思います。社会資本整備を中心に本土との格差は縮小しているわけでございますが、県内総生産、就業者数等が全国平均を上回る大きな伸びを示す等の一定の成果が見られている一方で、人口の伸びもございまして、一人当たり県民所得、完全失業率については依然、全国で最も悪い水準から脱し切れていないという課題が残っております。

左側に移っていただきまして、個別の柱立てごとの課題について一言ずつ御説明いたします。

I の「自立型経済の構築に向けた産業の振興」の関係では、まず「観光の振興」についてでございますが、ポツが現状に関する記述、星印が課題でございます。

課題といたしましては、観光の高付加価値化ということがまず挙げられまして、外国人向けのプロモーションでございますとか着地型観光の推進、キャリングキャパシティを踏まえたエコツーリズム、

メディカルツーリズムの推進等を書いております。

また、「情報通信産業の振興」の関係では星印でございますが、情報通信産業振興地域等の特区制度について、急速に進展するIT技術に対応できるような戦略的な制度設計、または急速に成長するアジアの市場を見据えた人材育成等が必要とされております。

農林水産業関連では共同選果の仕組み、販売力の強化、流通コスト対策、農商工連携の取組みなどが必要とされているところでございます。

④の「その他産業」の関連では、特別自由貿易地域等の各地域制度の在り方についての検討。または、バイオ産業の振興に向けた取組みが必要であること。また、公庫の機能が引き続き必要との指摘もされております。

Ⅱの「雇用対策」でございます。星印のところでございますが、雇用の創出などのほか、若年者の就業意識の涵養や機会教育の強化、働きやすい職場づくり等の雇用の「質」の改善が必要とされております。

また、科学技術の振興等におきましては世界的水準の知的クラスターの形成に向けた環境整備、国際交流に向けた人材育成、技術開発・移転などが課題とされております。

Ⅳの環境共生型社会の形成等についてでございますが、自然環境の保全・再生、地球温暖化対策、更にはバイオ燃料の活用など、こういった点について重要と指摘されております。

右側にまいりまして、Ⅴの健康福祉社会の実現などでございますが、沖縄の実情を踏まえた保育環境の整備、児童虐待の未然防止、不発弾対策の着実な推進等が課題とされております。

Ⅵの「多様な人材育成と文化の振興」についてでございますが、科学技術、留学制度の充実による人材育成、伝統文化の活用等についての指摘がされております。

Ⅶの「社会資本整備」につきましましては、高率補助の在り方についての検討、環境など新しい視点からの公共事業、または鉄軌道を含む新たな公共交通システムの可能性の検討などについての指摘がされているところでございます。

Ⅷの「離島振興」につきましましては、定住支援ということでございます。生活環境の基盤整備や、移動・物流コストの低減に向けた支援の在り方に関する検討といったことが課題とされております。

Ⅸの「跡地利用」についてでございますが、今後見込まれます大規模な跡地の発生に備えまして、跡地間の機能分担について調整する仕組みも含め、事業実施に向けた具体的検討が課題とされているところでございます。

右下の「今後の沖縄の振興の方向」という欄でございますが、その共通事項ということでまとめております。

4点でございますが、今後検討していくべき事柄といたしまして、まず今後の沖縄振興の在り方とし

てどのような基本方向が適当なのか。

また、一層の選択と周知を図る中で施策の優先順位づけが不可欠であるということ。

また、沖縄の地理的優位性を最大限活用することが必要であること。

また、「沖縄 21 世紀ビジョン」は今後の沖縄振興の大きな方向性を示すものであることを踏まえまして今後取り組んでいくといったことについて触れているところでございます。

その上で、以下に掲げる論点について、沖縄県における議論を十分見守りつつ、議論を深めていくこととしておりますが、論点そのものにつきましては先ほどの課題と重なる部分もございますので省略させていただきたいと思っております。

私からの説明は以上のとおりでございます。よろしくお願いたします。

○嘉数総合部会長 ありがとうございます。

ただいまの御説明に対して御質問、御意見等がありましたらお願いいたします。どなたでも結構です。

○安田委員 全体に対してでよろしいですか。

○嘉数総合部会長 どうぞ。

○安田委員 前に審議しまして随分意見も言わせていただいたので、私自身はこれで結構かと思うんですが、逆にも、1つだけ、4ページの図表は充実されてわかりやすくなったと思うんですが、逆に例えば目標年次で平成 23 年度がありますね。

それで、県内総生産が 4 兆 5,000 億円、第 3 次産業が 77%、これは非常にいい形だと思うんですが、これでいくと第 3 次産業は 3 兆 4,000 億ぐらいとなるんですが、その次のページの表 2 の観光のところの目標のトータルは 6,000 億円なので、3.5 兆円と 6,000 億円の差は何になるんだろうかというのがちょっと……。

この答申はそのままいいんですけれども、ちょっと教えていただければありがたいと思っております。

○小池企画担当参事官 実際に県内総生産について分析いたしますと、確かに第 3 次産業が非常に額的に多くなるわけでございますが、例えば小売業でございますとかサービス産業というのは非常に裾野が広がってございまして、観光という形で取り出しますと 4,000 億とか数千億のオーダーなのですが、非常に小売関係、あるいは公的サービスなどもちょっと含まれてまいりますので、そういうものの中から今、沖縄振興計画で推進していくべきもののトップとして掲げているのは観光であるといった抜き出し方になっている次第でございます。裾野は非常に第 3 次産業は広いということかと思っております。

○嘉数総合部会長 今の御説明に加えて、この観光産業の 6,000 億円というのは付加価値ベースじゃないんです。ここに書いている総生産というのは付加価値ベース、つまり中間財を取り除いた金額に

なっているわけです。

ですから、今、小池企画担当参事官がおっしゃったように、3次産業の中に例えば観光産業がカテゴリーとしてあるわけじゃなくて、場合によっては農業も含めて観光施設なども対象になっています。製造業も入っているし、サービス産業、ホテル関係も入っているし、交通も入っているという形になっていると思います。ですから、これとこの数字は概念が異なり、ディレクトにはつながってこないということだと思います。

當眞委員、何かございませんか。

○當眞委員 特にございません。

○嘉数総合部会長 玉沖委員は、いかがですか。

○玉沖委員 私もよろしいかと思います。

○嘉数総合部会長 小西委員は、いかがですか。

○小西委員 これで結構です。

○嘉数総合部会長 では、皆さんから御指摘が若干ありましたが、審議会に御報告した上で、総合部会としては大方、本中間報告を御了承いただいたということでよろしゅうございますか。

(委員 異議なし)

○嘉数総合部会長 ありがとうございます。では、その旨、審議会の方に御報告させていただきます。

事務局から何かございませんか。

○小池企画担当参事官 ありがとうございます。

それでは、審議会につきましては本日 14 時からすぐ隣の共用第 4 会議室で行われますので、委員の皆様には御参集のほどお願いいたします。よろしく申し上げます。

○嘉数総合部会長 以上をもちまして、第 16 回沖繩振興審議会総合部会を終わります。ありがとうございました。